

平成30年度 学校関係者評価報告書

学校法人旭川荘
 厚生専門学院学校関係者評価委員会
 委員長 杉本 尚平

「平成30年度学校自己評価報告書」に基づき学校関係者評価を行いましたので、下記のとおり報告します。

記

1. 実施日等 令和元年7月12日(金) 10:30~12:00 旭川荘厚生専門学院 1号館 1F会議室

2. 学校関係者評価委員(以下、「委員」という。)

| | | | | | |
|--------------|----|-------|-----------|--------|-------|
| 岡山県立瀬戸南高等学校 | 校長 | 安井 盛 | 旭川児童院 | 看護課長 | 大月 道子 |
| 旭川荘厚生専門学院後援会 | 会長 | 岡崎 倫三 | いづみ寮 | 地域支援課長 | 佐々木亮治 |
| ひらたえがお保育園 | 園長 | 江田加代子 | 旭川荘厚生専門学院 | 学院長 | 杉本 尚平 |

3. 実施方法及び公表

「平成30年度学校自己評価」を委員が確認し、各項目に対する意見と評価をとりまとめた。

評価結果は、今後の教育活動や学生指導等、学校運営の改善に活かし、教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等に公表する。

4. 評価及び意見

評価項目に対する委員の評価及び意見、提案(以下、「評価等」という。)は以下のとおり。

評 価 4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

評価項目 1「教育理念・目的」

| 点検項目 | 自己評価 | 関係者評価 |
|---|------|-------|
| 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか | 3.7 | 3.3 |
| 学校における職業教育その他の教育指導の特色が明確になっているか | 3.6 | 3.5 |
| 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | 3.0 | |
| 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が広く周知されているか | 3.0 | |
| 各学科の教育目標、育成人材像は、関係業界のニーズに合致しているか | 3.3 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・学生を大事にする学校、学生同士が助け合う本学の特長を前面に出しPRすべき。 ・旭川荘と連携した厚生専門学院の良さを卒業生・保護者の力を借りてどんどん広げていってほしい。 ・旭川荘の理念をベースにした厚生専門学院での学びが学生を大きく成長させ、地域の信頼を得ている。 | | |

評価項目 2「学校運営」

| 点検項目 | 自己評価 | 関係者評価 |
|--|------|-------|
| 目的等に沿った運営方針が策定されているか | 3.4 | 3.3 |
| 運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 3.4 | 3.3 |
| 運営組織や意思決定機能は規則等で明確化され、有効に機能しているか | 3.3 | |
| 人事、給与に関する規定等は整備されているか | 3.5 | |
| 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | 3.3 | |
| 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 3.2 | |
| 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 3.2 | |
| 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 3.0 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・本学の優れた教育実践(能力・個性の伸長)を外部に伝える工夫が必要。 | | |

評価項目 3「教育活動」

| 点検項目 | 自己評価 | 関係者評価 |
|--|------|-------|
| 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 3.4 | 3.1 |
| 教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた教育目標や学習時間の確保 | 3.2 | |
| 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | 3.3 | |
| キャリア教育・実践教育の視点に立つカリキュラムや教育方法の工夫・開発 | 3.2 | |
| 業界団体・関係施設等との連携によるカリキュラム作成及び見直しの実施 | 3.0 | |
| 関連分野における実践的職業教育が体系的に位置づけられているか | 3.2 | |
| 授業評価の実施・評価体制はあるか | 3.0 | |
| 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 2.6 | |
| 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | 3.3 | |
| 資格取得等に関する指導体制やカリキュラムの体系的な位置づけはあるか | 3.3 | |
| 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる教員を確保しているか | 3.1 | |
| 関係業界と連携し、優れた教員確保等のマネジメントが行われているか | 3.0 | |
| 先端的知識・技能等の習得や教員の資質向上のための取組が行われているか | 3.0 | |
| 職員の能力開発のための研修等が行われているか | 2.9 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・他の教員の授業を見学する機会を設けるべき。刺激になり、資質向上につながる。 ・対人関係のベースとなる「挨拶」の重要性を学生によく理解させている。 ・国家試験合格のための準備が早い段階から実施されている。 | | |

評価項目 4「教育成果」

| 点検項目 | 自己評価 | 関係者評価 |
|---|------|-------|
| 就職率の向上が図られているか | 3.6 | 3.2 |
| 資格取得率の向上が図られているか | 3.5 | |
| 退学率の低減が図られているか | 3.1 | |
| 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 3.0 | |
| 卒業後のキャリア形成効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか | 2.8 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・国家試験合格率は保護者の立場からすればインパクトが大きく、もっとアピールすべき。 ・ひらたえがお保育園は職員の6割が児童福祉学科卒業生。園児90名の1/3が何らかの障害を持っている。旭川荘との連携教育で障害児保育を実践できる卒業生が力を発揮し、子どもも保護者も安心している。これは2年間の教育成果で、大いに外に伝えるべき。 ・どの学生も挨拶がよくできる。 ・退学率減少への取組は？ 学生の多様化に困惑する面もあるが、丁寧な学生相談や心理検査の結果をベースとした個別指導に取り組んでいる。 | | |

評価項目 5「学生支援」

| 点検項目 | 自己評価 | 関係者評価 |
|--|------|-------|
| 進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 3.4 | 3.1 |
| 学生相談に関する体制は整備されているか | 3.3 | |
| 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 3.3 | |
| 学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 3.1 | |
| 課外活動に対する支援体制は整備されているか | 3.0 | |
| 学生の生活環境への支援は行われているか | 2.9 | |
| 保護者と適切に連携しているか | 3.0 | |
| 卒業生への支援体制はあるか | 2.8 | |
| 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 2.9 | |
| 高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組を行っているか | 2.9 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・国家試験合格のための準備が早い段階から実施されている。(再掲) ・瀬戸南高校では介護福祉学科教員2名に授業を担当してもらっているが、個別支援や経済的支援が必要な生徒へも細かく対応してもらっている。このことが、本学介護福祉学科への進学につながっている。 ・退学率減少への取組は？(再掲) 学生の多様化に困惑する面もあるが、丁寧な学生相談や心理検査結果をベースとした個別指導に取り組んでいる。 ・旭川荘で多くの卒業生が働いており、将来の自分を具体的に想像できるメリットを学生指導に活かすべき。 | | |

評価項目 6「教育環境」

| 点検項目 | 自己評価 | | 関係者評価 |
|--|------|-----|-------|
| 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 2.7 | 2.9 | 2.9 |
| 実習施設、インターンシップ、海外研修等についての十分な体制整備 | 3.0 | | |
| 防災体制は整備されているか | 3.0 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・吉井川キャンパスの教育環境・学習環境は評価できる。(平成15年4月開校) ・経済的に恵まれない学生にとって、旭川荘の身近な施設でアルバイトできる環境は重要。 | | | |

評価項目 7「学生募集」

| 点検項目 | 自己評価 | | 関係者評価 |
|---|------|-----|-------|
| 学生募集活動は、適正に行われているか | 2.8 | 2.9 | 2.9 |
| 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 2.7 | | |
| 学納金は妥当なものとなっているか | 3.3 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・国家試験合格率は保護者の立場からすればインパクトが大きく、もっとアピールすべき。(再掲) ・提示資料によると高卒者の減少と専修学校進学者数との相関関係が明確でなく、学生募集の工夫で一定の入学者の確保ができるのでは。 ・中学校への本学教員による出前講座も、長いスパンで考えれば学生確保に有効だと考える。 ・卒業生と保護者の口コミが学生募集に一番効果がある。卒業生のPR手法を具体的に検討すべき。 ・瀬戸南高校では介護福祉学科教員2名に授業を担当してもらっているが、個別支援や経済的支援が必要な生徒へも細かく対応してもらっている。このことが、本学介護福祉学科への進学につながっている。(再掲) ・私立学校では、学生募集を専門に担当する職員を配置している。 | | | |

評価項目 8「財務」

| 点検項目 | 自己評価 | | 関係者評価 |
|---|------|-----|-------|
| 中長期的に学校の財務基盤が安定しているか | 2.5 | 2.9 | 2.9 |
| 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 3.0 | | |
| 財務について会計監査が適正に行われているか | 3.3 | | |
| 財務情報公開の体制整備はできているか | 3.0 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・財務基盤の安定は入学者の確保。提示資料によると高卒者の減少と専修学校進学者数との相関関係が明確でなく、学生募集の工夫で一定の入学者の確保ができるのでは。(再掲) | | | |

評価項目 9「法令遵守」

| 点検項目 | 自己評価 | | 関係者評価 |
|-------------------------------|------|-----|-------|
| 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 3.6 | 3.3 | 3.3 |
| 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 3.5 | | |
| 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 3.0 | | |
| 自己評価結果を公表しているか | 3.1 | | |
| ※特段の意見なし | | | |

評価項目 10「社会貢献」

| 点検項目 | 自己評価 | | 関係者評価 |
|--|------|-----|-------|
| 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 3.4 | 3.4 | 3.4 |
| 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 3.5 | | |
| 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか | 3.2 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・学校の方針としてボランティア活動や旭川荘各施設でのアルバイト奨励は評価できる。 | | | |